

平成26年7月18日

登録有形文化財（建造物）の登録について

文化審議会（会長 ^{みやた}宮田 ^{りょうへい}亮平）は、平成26年7月18日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに166件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。以下は登録有形文化財（建造物）の概要と主な事例、一覧表です。

この結果、近日中に行われる官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、9,917件となる予定です。

1. 答申が行われた登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	166件 28都道府県52市町村（区）	9,917件 47都道府県833市町村（区）

○時 代 別

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	49	34	35	48	166
累 計	1,726	3,209	2,066	2,916	9,917

○種 別

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新 規	0	18	24	23	3	11	0	0	41	44	0	2	166
累 計	111	970	1,281	400	187	317	310	300	4,462	1,323	185	71	9,917

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	126	15	25	166
累 計	7,778	565	1,574	9,917

2. 主な事例

① 太平洋航路の安全に寄与した、現存唯一の灯台附属施設

いぬぼうさきまきりしんごうしよむてきしゃ
旧犬吠埼霧信号所霧笛舎 千葉県銚子市

かまぼこ形の屋根と、濃霧発生時に霧笛を鳴らしたラッパが特徴的な霧信号所で、明治43年に建設された。壁から天井に至るまですべて鉄製で、明治後期における日本の灯台施設の特徴を示す。また、のちの八幡製鉄所やはた製の鋼材を使用したとみられ、我が国の近代化の一面を示す施設としても価値が高い。



② 規模雄大で室内意匠も華麗な迎賓施設

かすいさいずいりゆうかく
可睡齋瑞龍閣ほか 静岡県袋井市

曹洞宗寺院の境内に、昭和12年に建てられた大規模な迎賓施設である。桁行33mの規模で、広大な座敷の周囲に畳廊下めぐを廻らし、各室内を、藤や桜など部屋ごとの主題に因む襖絵ふすまゑや欄間らんまで華やかに飾る。東司は、網代天井あじろに天蓋風の中心飾りを設け、便室の欄間に繊細な意匠の組子細工をいれるなど、希有な造作になる東司である。



③ 県都の象徴となる戦前最後期の大型庁舎建築

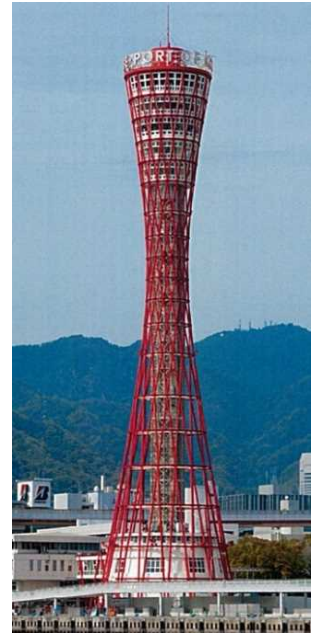
滋賀県庁舎本館 滋賀県大津市

昭和14年に完成した県庁舎で、設計は佐藤功一ら、施工は大林組である。口字形建物の前面両側に翼部をのばした平面をもつ。正面中央と翼部両端にコリント様式の大オーダーを並べ、中央には二段構成の塔屋とうやをあげ、重厚な車寄くるまよせを構え威厳を示す。内部では知事室や議場などに優美な内装を残す。戦前最後期の大建築ともいえる庁舎。



④ 港湾都市神戸のシンボルとして親しまれるタワー
神戸ポートタワー 兵庫県神戸市

神戸港を眺望し、港湾の機能などを理解できる港湾博物館を建設するという、当時の神戸市長による構想に基づき昭和38年に建設された展望塔で、高さ108mを測る。わが国初の鋼管パイプフレーム構造が採用されたタワーであり、港湾都市神戸のシンボルとして親しまれる。



⑤ 山陰地方における素封家の生活を伝える近代和風建築
米原家住宅主屋ほか 鳥取県八頭郡智頭町

智頭宿内の角地に所在する住宅である。主屋は明治39年頃に建てられた2階建てで、屋根にむくりをもたせ、正面左手に玄関を構え、内部は前後3列に20室ほどの居室を配置する。智頭宿の景観を引き立てる大規模で上質な近代和風建築で、門や塀などもあわせて登録する。



写真提供：鳥取県教育委員会

⑥ 萩の寺として知られる古刹の荘厳な堂舎群
萩原寺本堂ほか 香川県観音寺市

山麓に広大な境内を構える真言宗の古刹である。本堂は享保8年(1723)の建立になり、内部を前後の内外陣に区画し、細部に禅宗様意匠を取入れた密教系仏堂である。客殿は茅葺の大型建築で正面に式台玄関を構える。このほか護摩堂や鐘楼など、近世から近代に整備された堂宇がよく保存されており、伽藍の全体的な保護を図る。



写真提供：香川県教育委員会

名 称	所在地	建設年代	特 徴 等	種 別	基準
飯田家住宅座敷棟	北海道沙流郡日高町	M44/S26移築	気品のある意匠になる折上格天井や座敷飾りを備えた和風住宅の座敷棟。	建築物 住宅	2
津軽鉄道旧芦野公園駅本屋	青森県五所川原市	S5	腰折れ破風など洋風意匠を加味した外観で、内部には出札窓口なども残る。	建築物 交通	1
東北学院大学本館（旧東北学院専門部校舎）	宮城県仙台市	T15	本館は正面中央に玄関ポーチを設け、その中央部を塔屋状につくり、礼拝堂は扁平尖頭（へんぺいせんとう）アーチの縦長窓や笠（かさ）付の柱形で垂直性を強調した外観になる。いずれもゴシック風の意匠を取り入れて端正にまとめられた学舎である。大学院棟は縦長窓を巧妙に配して均整のとれた外観を示す。	建築物 学校	1
ラーハウザー記念東北学院礼拝堂		S7		建築物 学校	1
東北学院大学大学院棟（旧シュネーダー記念東北学院図書館）		S28/S38改修		建築物 学校	1
不忘閣本館	宮城県柴田郡川崎町	M40	青根温泉中心部に構える温泉宿。本館は木造2階建てで、各室に異なる意匠の座敷飾りを備える。離れは、前庭に面して同形同大の客室を並べて開放的なガラス窓を開く。これに接続する御殿棟は旧藩主一門の宿泊を意図した優美な意匠の旅館建築で、12畳半の主座敷は上段とし、上質な座敷飾りや小組格天井など高い格式を示す。敷地北寄りに残る土蔵群や門もあわせて登録する。	建築物 産業3次	1
不忘閣離れ		T		建築物 産業3次	1
不忘閣御殿棟		S7		建築物 産業3次	1
不忘閣文庫蔵		M29		建築物 産業3次	1
不忘閣座敷蔵		M29頃		建築物 産業3次	1
不忘閣穀蔵		M29頃/H18改修		建築物 産業3次	1
不忘閣門		S前		工作物 産業3次	1
鈴木新平商店見世蔵	茨城県結城市	M16頃	織物が盛んな結城の往時を伝える商家建築。見世蔵は、通りに西面する建ちの高い土蔵造の建物。北に並び建つ黒漆喰（しっくい）塗の文庫蔵と、敷地内の座敷棟をあわせて登録する。	建築物 産業3次	1
鈴木新平商店文庫蔵		M16		建築物 産業3次	1
鈴木新平商店座敷棟		M16頃		建築物 産業3次	1
旧上岡小学校第一棟	茨城県久慈郡大子町	M43/T15・S43改修	東西棟で平屋建の木造校舎が校庭に南面して建つ。明治末年に遡る第一棟と昭和前期の第二棟が残り、学校拡充の様相を示す。第三棟は採光のために南面の高窓を広めながらも方杖（ほうづえ）などで構造強化を図り、当時の木造校舎の構造的進展を今に伝える。	建築物 学校	1
旧上岡小学校第二棟		S12/S38改修		建築物 学校	1
旧上岡小学校第三棟		S38		建築物 学校	1
旧黒沢中学校本館	茨城県久慈郡大子町	S25	戦後まもなく建てられた校舎群が残る。本館は添柱や方杖を用いた軸部、広い開口部など、初期中学校舎の一典型を示す。屋内運動場は、本館北東に建つ内部高大な施設で、大壁風のモルタル塗とし、縦長窓と丸窓で外観を整えるなど、意匠面にも工夫がある。技術教室や音楽教室などの附属棟と一体的に保護を図る。	建築物 学校	2
旧黒沢中学校技術教室		S26/S35改修		建築物 学校	2
旧黒沢中学校調理室及び図書館		S26		建築物 学校	2
旧黒沢中学校屋内運動場		S30		建築物 学校	1
旧黒沢中学校音楽教室		S37		建築物 学校	1
三重家住宅主屋		埼玉県川越市		S6	主屋は、本屋根と玄関を起りのある入母屋造として優雅な印象を与える。居室と玄関を廊下で区分する、近代住宅形式の好例となる。
三重家住宅門	S6頃		工作物 住宅	1	
旧大吠埼霧信号所霧笛舎	千葉県銚子市	M43	鉄造を採用した霧信号所として唯一現存し、我が国の近代化を象徴する施設。	建築物 交通	3
金剛院本堂	東京都豊島区	S29/H25改修	本堂は古典建築の造形を引用した鉄筋コンクリート造。庫裏は六間取形式の庫裏と座敷3室を並べた客殿を矩（かね）の手に接続させ、洗練された座敷を持つ。	建築物 宗教	2
金剛院庫裏		S9/H25改修		建築物 宗教	1
旧ヤマジユウ田村家住宅主屋	東京都福生市	M35/T5改修	主屋は右土間の六間取系平面で、引分けの大戸や三方にめぐらす廊下など、形式の発達と意匠の洗練が認められる近代の大型民家。2棟の土蔵も同じ棟梁（とうりょう）が手がけ、敷地内に統一された景観を見せる。	建築物 住宅	2
旧ヤマジユウ田村家住宅西土蔵		M37		建築物 住宅	1
旧ヤマジユウ田村家住宅東土蔵		M44		建築物 住宅	1
藤田屋旅館本館	神奈川県足柄下郡湯河原町	T12/S4・S26改修	室内のトコや欄間に繊細な意匠の組子細工や透彫を飾り、温泉地の旅情を醸す。	建築物 産業3次	1
小松酒店店舗兼主屋	新潟県三条市	S4/H2改修	せがい造の入母屋屋根が三条の町家の特徴をよく示し、通りの景観に寄与する。	建築物 産業3次	1
旧新光屋米店店舗兼主屋	新潟県三条市	S3頃/S中・H25改修	店舗兼主屋は高い内部空間をもち、平面形式などに地方的特色を備えた近代町家。精米所は三条市中心部において希少な、戦前期に遡る煉瓦（れんが）造建築である。	建築物 産業3次	1
旧新光屋米店精米所		T/H25改修		建築物 産業3次	1
遠人村舎	新潟県三条市	M/S12・H8移築	軸部や内部造作に吟味された丸太材を使うなど、漢学者諸橋轍次（てつじ）の書齋に相応しく趣ある意匠を持つ。	建築物 住宅	2
今井家住宅主屋	新潟県燕市	E後	近世以来の旧家で、戦後は家庭薬事業などを手がけた今井家の住宅。主屋は豪壮な構えで通り沿いに雁木（がんぎ）を通す。西洋館は煉瓦造の外観のみならず、シャンデリアや花卉形の中心飾など、内装にも明治期らしい重厚華麗さを漂わす。格式ある新座敷や、銀行を営業していた敷地内の店舗もあわせて登録する。	建築物 住宅	1
今井家住宅西洋館		M中		建築物 住宅	3
今井家住宅新座敷		M中		建築物 住宅	2
旧今井銀行店舗		T9		建築物 住宅	1

名 称	所在地	建設年代	特 徴 等	種 別	基準	
大崎家住宅主屋	石川県輪島市	S4頃	塗蔵に続く幅一間の通り土間など、輪島塗の塗師住宅の好例を示す。	建築物	産業2次	2
越志家住宅主屋（旧廣善院客殿）	長野県長野市	E後／M34・H5頃改修	主屋は戸隠の宿坊廣善院のもと客殿で、明治後期に祭壇を仏式から神式へ改めるなどの改修を受けており、宿坊の変容過程や戸隠信仰の様相を伝える。敷地内の土蔵とあわせて登録する。	建築物	宗教	1
越志家住宅土蔵		M中／S40頃移築		建築物	産業3次	1
玉依比賣命神社本殿	長野県長野市	E後	天王山南麓に境内を構える。本殿は三間社流造で、全体に装飾を抑えた端正な意匠となる。拝殿は変化に富んだ平面をもち、巧みに演出された内部空間と複雑な屋根形状をもつ。宗形社は一間社流造の小社ながら、本格的な構えを見せる。	建築物	宗教	1
玉依比賣命神社拝殿		嘉永7（1854）		建築物	宗教	1
玉依比賣命神社宗形社本殿		元禄6（1693）		建築物	宗教	2
玉依比賣命神社宗形社拝殿及び本殿覆屋		E中		建築物	宗教	1
塩川家住宅主屋	長野県小諸市	M27／H18改修	豪壮で気品を備えた近代住宅で、座敷ではトコの両側にトコ脇を備え、室境には菱（ひし）万字文の組子欄間を飾る。	建築物	住宅	1
長野銘醸事務所	長野県千曲市	T5	創業が近世に遡る酒造会社で、作業庭を囲むように建物群が配置される。木造2階建の事務所は大振りなトコにケヤキの一枚板を使うなど、贅沢（ぜいたく）な造作になる。酒造場の中心施設となる酒蔵は2階建の大型土蔵で、杜氏（とうじ）の営みを今に伝える。貯蔵蔵、南蔵、米蔵といった、酒蔵にかかわる主要な土蔵群とともに中核をなし、粕蔵（かすぐら）や東納屋、西納屋などの附属建物についてもよく保存されている。また文庫蔵は掛子塗を施した観音開の扉や窓のひさしの持送りなどに、高い左官技術を見せる。これら生活に関わる建物も一体となって残るほか、街道に面しては長屋門などを構えており、地域の歴史的な景観に寄与している。	建築物	産業2次	1
長野銘醸酒蔵		E末／M・T・S20・S42改修		建築物	産業2次	1
長野銘醸貯蔵蔵		E末		建築物	産業2次	1
長野銘醸南蔵		T10		建築物	産業2次	1
長野銘醸米蔵		E末／T5改修		建築物	産業2次	1
長野銘醸粕蔵		E末／M中改修		建築物	産業2次	1
長野銘醸東納屋		M40		建築物	産業2次	1
長野銘醸西納屋		E末／M30改修		建築物	産業2次	1
長野銘醸東土蔵		E末／T15改修		建築物	産業2次	1
長野銘醸西土蔵		E末／T15改修		建築物	産業2次	1
長野銘醸文庫蔵		M前		建築物	産業2次	1
長野銘醸長屋門		E末		建築物	産業2次	1
亜武巢山荘	長野県北佐久郡軽井沢町	T後	階高を抑え、明るい窓を連続配置するなど、住み心地に配慮したヴォーリズの作風が表れる別荘建築。	建築物	住宅	2
日下部味噌醤油醸造煉瓦館	岐阜県高山市	T11／S50頃・H2改修	市内では希少な煉瓦造建築で、外壁にコーニスを廻らしてデンティルで飾る。	建築物	産業3次	1
吉田家住宅主屋	岐阜県美濃加茂市	E末／M中改修	中山道太田宿のもと旅籠で、正面の出格子や袖壁が特徴的な町家建築。	建築物	産業3次	1
穂積家住宅長屋門	静岡県磐田市	M11／M30頃・H25移築	中央間を門口として正面脇間に与力窓を設ける。旧家の格式を伝える長屋門。	建築物	住宅	1
玄妙寺経蔵	静岡県磐田市	S9	経蔵は土蔵風の外観をもつ鉄筋コンクリート造建築。門柱及び塀は、三和土を成型して積む独特な構造の門塀で、当地の建築技術を伝える。	建築物	宗教	2
玄妙寺門柱及び塀		S前		工作物	宗教	3
可睡斎瑞龍閣	静岡県袋井市	S12	瑞龍閣は大規模な迎賓施設で、部屋ごとの主題に因む欄間や絵襖で華やかに飾る。東司は天蓋風の飾りや欄間の組子細工など、希有な意匠をもつ東司である。	建築物	宗教	2
可睡斎東司		S12頃		建築物	宗教	2
中森家住宅主屋	三重県伊賀市	E末／S前・S50改修	上野城下に伝わる武家住宅。主屋は南妻の玄関脇を台所とし、床上の4室を食い違いに配するなどの特徴を持つ。通りに面して前蔵を配しており、さらに土蔵造2階建の蔵は建ちが高く、旧外堀側からの屋敷景観を整える。門や塀、井戸屋形といった敷地内の付属施設もよく残り、武家住宅の歴史的な景観を留めている。	建築物	住宅	1
中森家住宅離れ		T前		建築物	住宅	1
中森家住宅前蔵		E末		建築物	住宅	1
中森家住宅蔵		E末／S中改修		建築物	住宅	1
中森家住宅井戸屋形及び板塀		E末		工作物	住宅	1
中森家住宅門及び土塀		E末		工作物	住宅	1
滋賀県庁舎本館	滋賀県大津市	S14／H10改修	戦前に遡る鉄筋コンクリート造庁舎で、重厚な外観と優美な内装を保つ。	建築物	官公庁舎	2
宮本家住宅主屋	滋賀県大津市	S5／S10頃・H4改修	内外部の意匠に設計者ヴォーリズの特徴がよく表れる、瀟洒（しょうしゃ）な木造2階建住宅。	建築物	住宅	2
旧多田家住宅主屋	滋賀県大津市	M中／H19改修	4室を一行に並べた平面で、出格子内の引込み板戸などに大津町家の特色を示す。	建築物	住宅	1
栗原家住宅主屋	京都府京都市	S4	本野精吾（もとのせいご）の設計になる、中村式鉄筋コンクリートブロック造の3階建住宅で、構造的合理性と美観性が具現化されたモダニズム建築。	建築物	住宅	3
栗原家住宅門及び塀		S4		工作物	住宅	3

名 称	所在地	建設年代	特徴等	種 別	基準
鈴木薄荷株式会社社屋	兵庫県神戸市	S前/H9改修	柱形と梁形(はりがた)を表した平明な外観のモダニズム建築で、細部にアールデコ風意匠を取り入れてアクセントとする。	建築物 産業2次	2
松尾ビル(旧小橋屋呉服店神戸支店)	兵庫県神戸市	T14	正面にアーチを並べて要所に表現派風意匠を表し、内部にも豊かな装飾を施す百貨店建築。	建築物 産業3次	2
神戸ポートタワー	兵庫県神戸市	S38	我が国で初の鋼管パイプフレーム構造で、斬新な意匠を持つ港湾博物館施設。	工作物 産業3次	1
慧日寺方丈	兵庫県丹波市	E後	山中に境内を開く臨済宗寺院で、茅葺屋根の方丈と庫裏や、県指定文化財の仏殿が境内の核となり、地域の歴史的な景観を形作る。方丈は六間取の正側に広縁を廻らし、禅宗寺院の方丈に特徴的な平面形式をもつ。土蔵造の経蔵のほか、ひわだ葺の鐘楼や、一間薬医門の裏門があり、境内の景観を彩っている。	建築物 宗教	1
慧日寺庫裏		E後/T13改修		建築物 宗教	1
慧日寺経蔵		E後		建築物 宗教	3
慧日寺鐘楼		慶応3(1867)		建築物 宗教	1
慧日寺裏門		E中		工作物 宗教	1
井田家住宅主屋	奈良県奈良市	S6/S中・H初頃改修	土間部分の屋根を落棟とし、正面に出格子や袖壁を設けるなど、当地の伝統的な民家形式を伝える住宅。	建築物 住宅	2
中川家住宅主屋	奈良県奈良市	T4/H13改修	織物業を手掛けた中川家の住宅。主屋は間口の広いつし2階建町家で、南側の通り土間の屋根を落棟とし、正面に格子や袖壁を設ける。内部では座敷飾りや透彫欄間に大正期らしい洗練さを備える。後方には庭側の採光に配慮した開放的な離れを建てて渡廊下でつなぎ、敷地奥には重厚な趣の大型土蔵を建てる。隣地境には煉瓦塀を積み、伝統的な町家の屋敷地に近代の趣を添える。	建築物 住宅	1
中川家住宅渡廊下		T4/H13改修		建築物 住宅	1
中川家住宅離れ		S前/H13改修		建築物 住宅	1
中川家住宅蔵		T4/H13改修		建築物 住宅	1
中川家住宅煉瓦塀		T4頃		工作物 住宅	1
旧伊那佐郵便局	奈良県宇陀市	S9/H24改修	欄間に郵便記号を飾るなど昭和初期の郵便事業の様相を伝える旧局舎。	建築物 官公庁舎	1
興山寺本堂	和歌山県紀の川市	M22	宝形造(ほうぎょうづくり)本瓦葺の三間堂で、墓股(かえるまた)や籠彫の木鼻など、豊かな装飾で荘厳される。	建築物 宗教	1
立川稲荷神社本殿	鳥取県鳥取市	T10/S8・H25改修	本殿は建ちの高い切妻造社殿で、組物を舟肘木とするなど装飾を抑えた簡明な意匠をもつ。前面に建つ拝殿及び幣殿は、唐破風造の向拝など正面の装飾密度を高める。両者の間の石段上には、屋根に緩く起りをつけた中門が結界をなし、静謐(せいひつ)な社叢(しゃそう)空間を創る。	建築物 宗教	1
立川稲荷神社拝殿及び幣殿		寛保元(1741)/T7改修		建築物 宗教	1
立川稲荷神社中門		T10/S8・H25改修		工作物 宗教	2
摩尼寺本堂	鳥取県鳥取市	万延元(1860)	天台宗の古刹で、本堂は向拝や内外陣境、仏壇廻りを彫刻で高密度に飾り、時代的特徴を良く示す。山腹の伽藍正面には、一間一戸薬医門形式の山門と鐘楼を配し、山門は随所に立体的な彫刻を施す。	建築物 宗教	2
摩尼寺鐘楼		M25		工作物 宗教	1
摩尼寺山門		M中		工作物 宗教	1
米原家住宅主屋	鳥取県八頭郡智頭町	M39頃	智頭往来と備前往来の交差する角地に建つ近代豪商の住宅で、主屋は良材を駆使した座敷を多数有する。敷地内には海鼠(なまこ)壁で飾る2階建土蔵も残る。街道に面しては、それぞれ塀を廻らして、門を開けており、往来の景観を整える。	建築物 住宅	1
米原家住宅土蔵		M中/S30頃移築		建築物 住宅	1
米原家住宅上門及び塀		T前		工作物 住宅	1
米原家住宅下門及び塀		M39頃		工作物 住宅	1
山常楼主屋	島根県安来市	S9頃/S51改修	複雑な屋根構成を持つ大型建築で、広間の座敷飾りや窓廻りの高欄腰組などの造作も贅を尽くしたものとなる。安来鋼で栄えた港町を彩る料亭建築。	建築物 産業3次	1
山常楼土蔵		T		建築物 産業3次	1
旧日の丸写真館	広島県竹原市	S7頃/S20頃改修	角地に建つ建物で西角を隅切とし、内部には写場や写真修整室を配する。特異な外観をもつ旧写真館。	建築物 産業3次	1
南禅坊本堂	広島県福山市	E末/S40・H7改修	本堂は浄土真宗本堂の標準的平面を示し、要所に時代相応の発達した装飾を見せる。山門は四脚門の上部に上層を増築した履歴をもち、強い軒反りをみせるなど異国情緒を漂わせる。	建築物 宗教	1
南禅坊山門		E中/文化7(1810)改修		工作物 宗教	1
福泉坊本堂	広島県安芸高田市	S23/H25改修	本堂は長さ七間分の欄間に勇壮な龍彫刻を飾り、組物には斜めの肘木を用いるなど、当地で名工と謳(うた)われた西谷庄一の力量を示す。並び建つ庫裏は造作の一部に古様を示す建物で、本堂とともに境内景観を引き立てる。細部意匠の充実した鐘楼や山門もあわせて登録する。	建築物 宗教	2
福泉坊庫裏		E末/H25改修		建築物 宗教	1
福泉坊鐘楼		S29		工作物 宗教	1
福泉坊山門		文政13(1830)/H16移築		工作物 宗教	1

名 称	所在地	建設年代	特 徴 等	種 別	基準
大日靈神社本殿	徳島県三好市	M31	本殿は尾垂木付の三手先で軒や妻飾りを大きく迫り出した流造本殿で、高い彫刻技法に見応えがある。拝殿も向拝の彫刻などに本殿と共通した技法が見られる。	建築物	2
大日靈神社拝殿		M31		建築物	1
旧鎌田醤油本店	香川県坂出市	E末/H16改修	商店街の通りに北面する醤油(しょうゆ)商のミセと、もと社長宅。本店の2階には接客用の座敷を設け、近世商家のたたずまいを残す。淡翁荘はもと社長宅で、外観は幾何学的で端正な意匠だが、内部は上質な和風座敷や本格的な意匠の洋室を配する。	建築物	1
旧鎌田醤油大門		M前/S30頃移築		建築物	1
淡翁荘主屋		S11/H16改修		建築物	2
淡翁荘黒門		S12		工作物	1
萩原寺本堂	香川県観音寺市	享保8(1723)/宝暦4(1754)・S10改修	真言宗寺院で、境内の東丘陵上に本堂等を配し、西側の平地に客殿を中心とした本坊を構える。本堂は内部を前後に二分して内外陣とし、両者とも三間梁を架けて無柱の室とする。本堂の周囲には鐘楼や手水舎を配する。境内中央に建つ護摩堂は、軒をせがい造として深くとり、内陣に石積の護摩壇を設ける。客殿の屋根は茅葺の四方に瓦葺屋根を廻らす、当地で四方蓋と呼ぶ形式をもち、地方的特色を見せる。客殿正面には番所を従えた大門が開かれ、厳格な雰囲気醸す。本坊東辺には長大な土塀を廻らし、表構えに緊張感と格調を添える。近世から近代にかけて連綿と整えられた堂舎がよく保存されている。	建築物	1
萩原寺護摩堂		E前/享保10(1725)・S10頃・S58改修		建築物	1
萩原寺客殿		宝暦14(1764)頃		建築物	1
萩原寺鐘楼		M前		工作物	1
萩原寺手水舎		S11頃		工作物	1
萩原寺大門及び番所		E末		建築物	1
萩原寺南門及び土塀		E末/S53・H3改修		工作物	1
本山寺大師堂	香川県三豊市	寛政7(1795)/M16改修	国宝の本堂を擁する四国霊場札所の寺院建築。大師堂は、組物や軒まわりを本格的な形式で構成する入母屋造屋根の三間堂で、対面する十王堂は五間堂と規模が大きく、特に向拝の架構や細部が充実している。本堂西脇の大日堂は、室町期に遡る古材を用いたと考えられる小堂で、古刹の由緒を伝える。宝蔵や鐘楼といった境内建物のほか、境内東辺に開かれた大門や冠木門も風格ある構えを示し、併せて登録する。	建築物	1
本山寺十王堂		宝暦9(1759)/H5改修		建築物	1
本山寺大日堂		E中		建築物	1
本山寺宝蔵		天保4(1833)		建築物	1
本山寺鐘楼		E中		工作物	1
本山寺大門		E後/T3移築		建築物	1
本山寺冠木門		M43		工作物	3
九州鉄道記念館(旧九州鉄道本社)	福岡県北九州市	M24/H15改修	東西長さ63mに及ぶ煉瓦造建築で、九州鉄道の黎明期(れいめいき)を伝える記念碑的な遺構。	建築物	3
しまばら湧水館(旧三村家住宅)主屋	長崎県島原市	S10頃	主屋は、湧水を引き入れた庭園との調和を意図した上質な住宅で、庭側に、吟味された良材を用いて造作された座敷を並べる。敷地を画する石塀や煉瓦塀もあわせて登録し、敷地の保存を図る。	建築物	1
しまばら湧水館(旧三村家住宅)石柱門及び石塀		S10頃		工作物	1
しまばら湧水館(旧三村家住宅)煉瓦塀		S10頃		工作物	1
松浦家住宅主屋	長崎県平戸市	S32	旧平戸藩主松浦家の本邸で、主屋は主人や客、使用人の動線を明快に区分した平面形式をもつ。登廊でつながれる御守堂は、上段に神棚状の御霊壇を配して旧藩主家の祖霊をまつる施設で、内部造作にも気品を備えている。金剛庫と仙禽庫は、幕末に平戸城二の丸に建てられたものを移築したと伝える、堅牢(けんろう)なつくりの土蔵である。	建築物	1
松浦家住宅御守堂		S32		建築物	1
金剛庫		E末/M前移築		建築物	1
仙禽庫		E末/M前移築		建築物	1
J R三角線網田駅本屋	熊本県宇土市	M32	J R三角線の間駅で、県内現存最古の駅舎建築であり、地域の近代化を物語る。	建築物	1
旅館白磯本館	熊本県天草市	S12	実業家赤崎伝三郎のもと自邸。主屋は、入母屋造の屋根を重層させた正面構えの座敷部に石造風意匠の2階建洋館を並立した豪壮な住宅である。離座敷や倉庫も残り、戦前の天草を代表する実業家の屋敷構えがよく保存されている。	建築物	2
旅館白磯離座敷		T3		建築物	1
旅館白磯倉庫		S12頃		建築物	1

名 称	所在地	建設年代	特 徴 等	種 別	基準	
くま川鉄道御溝橋梁	熊本県人吉市	T12	くま川鉄道は大正13年に開業した旧鉄道省湯前線を前身とする。開業当時に遡る橋梁(きょうりょう)群や湯前駅本屋のほか、昭和28年に建設された川村駅、木上駅の待合所や、同38年に建設された東多良木駅待合所などがまともに残る。中でも球磨川にかかる第四橋梁は、橋長322m、単線仕様の鋼製上路式プレートガーダー14連桁橋と長大なもので、くま川鉄道を代表する土木構造物である。橋長の比較的長い、第一高柱川橋梁、第二高柱川橋梁、免田川橋梁、井口川橋梁、百太郎橋梁は鋼製桁(ばんげた)橋の構造を採用しており、なだらかな山並みを背景として直線状の構造物が近代の景観を創出している。また御溝橋梁は、レールを縦枕木に取付ける最初期の標準設計の形態を今に伝える。岩清水アーチ橋は、鉄道院通達に基づく五心円の放物状アーチが特徴的。第二覚井橋梁、宮田橋梁は、単桁函渠(かんきょ)の標準設計を基に作られたと考えられる構造物で、ラーメン構造を思わせる外観をもつ。終着駅の湯前駅本屋は開業時の下見板張の建物で、内部には出札口の造作もよく残す。これら地域住民の生活を支え、親しまれている一連の鉄道施設を登録する。	土木	交通	3
くま川鉄道大王川橋梁		T12		土木	交通	1
くま川鉄道岩清水アーチ橋		T12		土木	交通	3
くま川鉄道川村駅待合所	熊本県球磨郡相良村	S28		建築物	交通	1
くま川鉄道球磨川第四橋梁	熊本県球磨郡相良村～錦町	T12/S49改修		土木	交通	1
くま川鉄道第一高柱川橋梁	熊本県球磨郡錦町	T12/S後改修		土木	交通	1
くま川鉄道第二高柱川橋梁		T12		土木	交通	1
くま川鉄道内門橋梁		T13		土木	交通	3
くま川鉄道第二覚井橋梁		T12		土木	交通	3
くま川鉄道木上駅待合所及びプラットホーム		S28/S31改修		建築物	交通	1
くま川鉄道崖下橋梁	熊本県球磨郡あさぎり町	T12/H25改修		土木	交通	1
くま川鉄道免田川橋梁		T12/S32・H8改修		土木	交通	1
くま川鉄道井口川橋梁		T12/S9・S32・S45改修		土木	交通	1
くま川鉄道宮田橋梁	熊本県球磨郡多良木町	T12		土木	交通	3
くま川鉄道平原アーチ橋		T13		土木	交通	3
くま川鉄道東多良木駅待合所及びプラットホーム		S38/H元・H25改修		建築物	交通	1
くま川鉄道百太郎橋梁		T13		土木	交通	1
くま川鉄道高橋川橋梁	熊本県球磨郡湯前町	T13		土木	交通	3
くま川鉄道湯前駅本屋		T13/S3・S42改修		建築物	交通	1
旧田原村役場	宮崎県西臼杵郡高千穂町	S2		もとの役場庁舎で、内装の細部に幾何模様を施す一方、玄関ポーチでは社寺風の組物で軒を支えるなど、和洋の意匠を巧みに取り入れる。	建築物	官公庁舎

注

建設年代：Eは江戸，Mは明治，Tは大正，Sは昭和，Hは平成の略。

種別：土木は土木構造物，工作物はその他工作物の略。

基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの，2は造形の規範となっているもの，3は再現することが容易でないもの。